

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「すこやかに、和気あいあいと楽しくらしを」という創業者の想いがあり、スタッフもその想いを大切にして勤務している。また、理念に沿った目標を毎年作りあげているが、日々の振り返りが十分とはいえない。	和楽の理念や今年の目標をスタッフ全員で共有を図る。	全職員が理念や今年の目標を共有し、実践につなげるように声掛けを行う。朝のミーティングでの読み上げを行ったり、毎日の行動の振り返りを話し合える環境作りに努める。	6ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援のなかで、終末期の取り組みで、終末期の指針は打ち出しているが、どのようにしていくかの手順が分からない。	スタッフへの終末期の手順作りを行う。	スタッフが終末期の方への介護をどのようにしているのか、不安を感じているので、勉強会を検討する。また、今後も病棟との協力で必要に応じて見学など行う。本人や家族の意向が全スタッフに伝わるように細目にミーティングを行っていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。